

見守り強化事業 実践

させぼ子ども食堂ネットワーク 代表 数山有里

親子いこいの広場もくもく 一般社団法人 E-BA





- 困っている家庭が来たとき。
- 子ども食堂では抱えきれない案件が来たとき。
- 継続的な支援が必要な家庭が来たとき。

行政とつながる必要性を感じていた

要支援家庭見守り

- 担当職員と一緒に訪問。**家庭の確認**
(子ども食堂でつながっている家庭は、訪問なし)
- 月1回～2回の訪問。食材支援・生活必需品支援・学習支援など
- 月1回は行政との会議(報告)

★要支援家庭の見守り

させぼ子ども食堂ネットワークが委託事業を受託しネットワークの中で、お家に訪問できるか、要支援家庭のフォローができるかなどなど子ども食堂と一緒に話し合いをした。

家庭によって 支援が違う

- 冷蔵庫・冷凍庫がないご家庭。
- キッチンがつかえないご家庭。
- オーダーしてくるご家庭。

繋がることが大事

- 支援している家庭を変えようなんて考えない。
- 子どもたちが外部の人と出会うことでそれだけで刺激となる。
- ここまでしてあげたのに・・・見返りを求めない。

見守り継続の課題感

- 物価高騰・米騒動・ガソリン代高騰
- 連絡が突然途絶えることなど支援している方とのコミュニケーション
- 子ども食堂運営者の要支援見守りのなりて

子ども食堂が見守りをする意味

- 見守りを卒業しても、地域での見守りを継続できる。
- 居場所として受け皿になれる。
- 民間として動きがはやい。



ご清聴

ありがとうございました